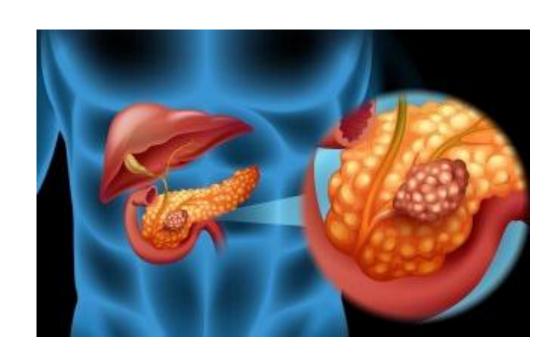
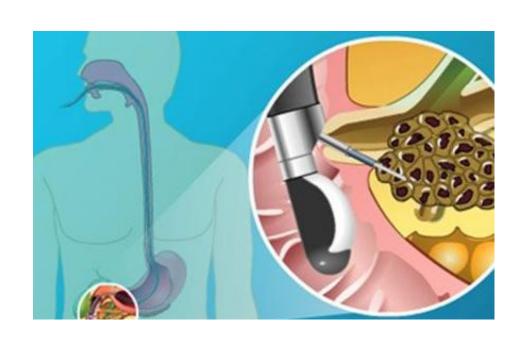
局所進行膵がんに対する超音波 内視鏡下光線力学療法

局所進行膵がんに対する超音波内視鏡下光線力学療法を12例に施行し、うち4例で腫瘍の抑制効果、1例において腫瘍の縮小効果が確認され、Gastrointestinal Endoscopy 誌に報告されました。



方法は、超音波内視鏡を使って、膵癌に直接針を刺し、その針穴から 630nm のレーザー光線を照射するというもの。 照射の2日前から porfimer sodium という光感受性を上げる物質を静脈から投与します。



超音波内視鏡下光線力学療法は、膵癌の治療に おける新たな選択肢となる可能性が期待されて います。